

SPC フローリング 施工説明書

1. ご案内

- 施工前にすべての製品にダメージがないかご確認ください。
- 説明書に記載の指示及び推奨事項を遵守して下さい。
- 本製品は温度 13-29℃、平均 21℃の環境下で保管およびご使用ください。その範囲外の気温下で本製品を保管されていた場合は、施工前に上記の温度環境下で 48 時間慣らしてからご使用いただくことをお勧めいたします。
- 長時間の直射日光は色あせの原因となりますのでお避け下さい。日射しが強くなる時間帯はカーテンやブラインドをご使用いただくことで製品内の温度上昇を抑え、熱による製品の膨張を防ぐことができます。
- 新築・リフォーム物件にかかわらず製品のダメージを防ぐために屋内に保管してください。
- 床板の濃淡の色差を最小に抑えるため、複数の箱の製品を混ぜて仮並べをし、色・柄のバランスをとって施工してください。
- 製品の取り付けや仕上がりなどご不明な点がございましたら施工前にお問い合わせください。施工後もしくは切断後のクレームはお受けできません。
- 本製品は屋内での使用を目的としております。床材としてのみご使用ください。

2. 下地について

- 下地は必ず頑丈な構造で平らな乾燥した清潔な状態にしてください。
※一般的な銅製の釘など、種類によっては床材表面の変色の原因となる場合があります。
また溶剤型接着剤は床材の表面を変色させる恐れがあります。

A. 合板下地の場合

- コンクリートに直敷きした合板の上や構造材の上、コンクリートで覆った合板上に設置しないでください。
- プラスチック製のシートを合板下地の上に敷かないでください。
- 基礎、また床下は必ず乾燥した状態にしてください。
- 木製下地について
12mm 以上の合板、パーティクルボード、OSB の下地に使用出来ます。合板、パーティクルボード、OSB のジョイントに段差がない事をお確かめください。
- 防火もしくは防腐処理が施された合板の上に直接敷かないでください。

B. リフォームの場合

- 現存の床材の表面が頑丈な材質であり、表面に汚れがなく平らで乾燥した状態のものであれば、その上に上張りしてもご使用頂けます。
- 下地もしくは施工箇所の過剰な水分はカビの発生、繁殖およびフローリング下での水分放出による問題が発生する可能性があります。あらかじめご確認ください。
- 現存の床材の上にご使用の場合、下地や基板が柔らかい材質の場合は本製品の結合部分が破損し、ロック機能を損なう恐れがあります。
- カーペットの上には使用しないでください。

3. 施工について

- ・床板の上に棚の設置や物を取り付けたりしないでください。
- ・5mm程度のクリアランスをあけてください。
- ・直射日光を長時間浴びる部分の施行は熱による膨張を軽減するために、ウレタン系接着剤の使用をお勧めします。
- ・施工前にフローリングの配置を必ず決めてください。それにより最終列や壁際の寸足らずによる短尺な床板の使用を防ぐことができます。美しい外観に仕上げるには床板の長さを20cm以下にしないことにご留意ください。
- ・床板のすべての先端が巾木や見切りによって保護されていることをご確認ください。巾木や見切りは床板に固定しないでください。
- ・バスルームのような水回り等では周囲をシリコンで防水加工を行ってください。
- ・完成した床板は、直射日光による色あせや熱による膨張を軽減するために、カーテンやブラインド等でできるだけ直射日光を避けてください。
- ・床暖機能は温水循環式のみご使用頂けます。最大で30℃を超えない様にしてください。